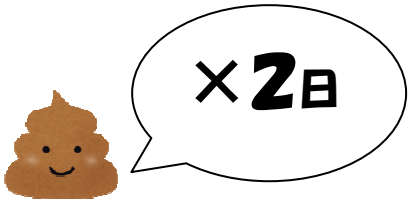
【大腸がん検診】

〈検査方法〉

検便(2日分)



※採取した便は傷みを防ぐため、冷暗所で保管してください。

流れ

① 医療機関で、検便容器を受け取る。
② 便２日分を採り、医療機関へ提出する。

検査で異常が見られた場合は自己判断せず、
必ず精密検査を受診することが大切です。

＜大腸がん検診のメリット＞

◆大腸がんの初期には、微量の**便潜血**しか発見の手がかりはありませんが、検便では目に見えない程度の微量な便の潜血も見つけることができる。
◆検便で検査できるため、体への負担がない。

＜デメリット＞

・異常がなくても精密検査が必要なる場合がある
・必ずがんが発見できるわけではない。